

千葉市感染症発生動向調査情報

2019年 第40週 (9/30-10/6) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	40週	39週	38週	37週
小児科	18	18	17	18
眼科	5	5	5	5
インフルエンザ*	28	28	27	26
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	9/30-10/6	9/23-9/29	9/16-9/22	9/9-9/15	9/23-9/29
			40週	39週	38週	37週	39週
小児科	RSウイルス感染症		4 0.22	14 0.78	3 0.18	17 0.94	133 0.99
	咽頭結膜熱		2 0.11	5 0.28	4 0.24	4 0.22	25 0.19
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		24 1.33	20 1.11	31 1.82	23 1.28	264 1.97
	感染性胃腸炎		61 3.39	51 2.83	49 2.88	67 3.72	300 2.24
	水痘		0 0.00	2 0.11	4 0.24	2 0.11	29 0.22
	手足口病		42 2.33	53 2.94	48 2.82	62 3.44	299 2.23
	伝染性紅斑		5 0.28	5 0.28	7 0.41	6 0.33	66 0.49
	突発性発しん		11 0.61	9 0.50	9 0.53	12 0.67	50 0.37
	ヘルパンギーナ		14 0.78	11 0.61	8 0.47	33 1.83	85 0.63
	流行性耳下腺炎	○	1 0.06	5 0.28	3 0.18	1 0.06	15 0.11
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)	↓	17 0.61	20 0.71	27 1.00	44 1.69	91 0.43
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	流行性角結膜炎		8 1.60	6 1.20	5 1.00	4 0.80	25 0.71
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	3 0.33
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(1件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
レジオネラ症	男性	50歳代	病原体抗原の検出	-	-	-	-

*第40週は、レジオネラ症1件(12)の報告があった。

※ ()内は2019年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第40週のコメント

<流行性角結膜炎> 前週より増加し1.60となった。過去10年の同時期と比べると多い。

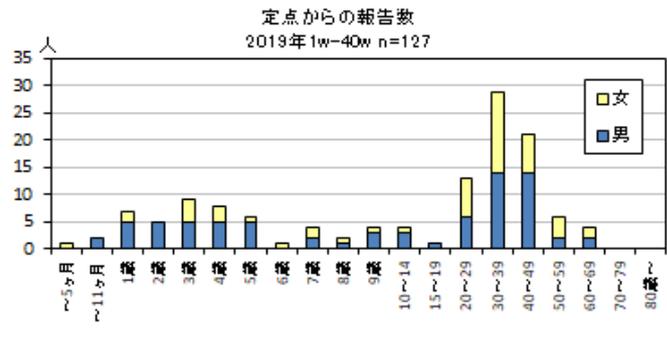
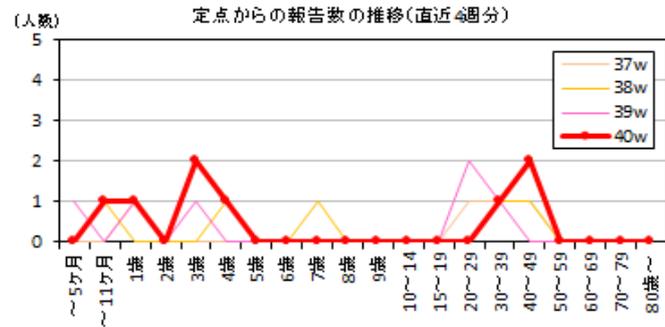
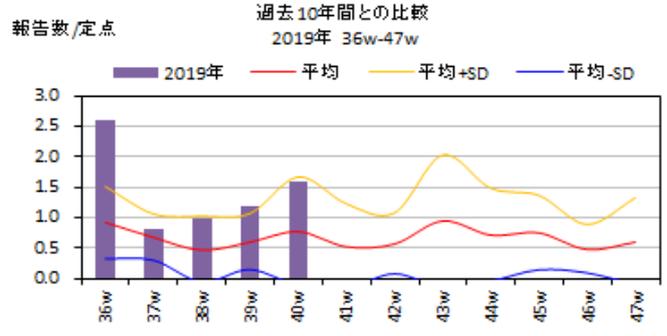
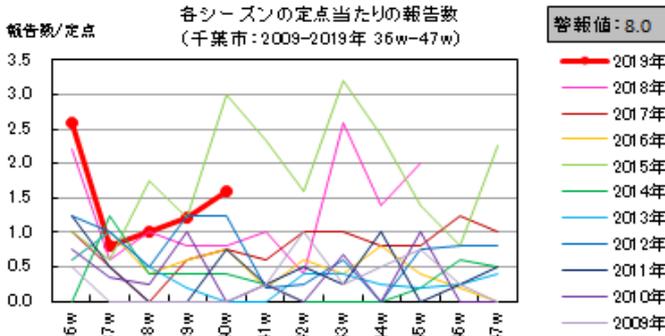
<手足口病> 前週より減少し2.33となった。過去10年の同時期と比べるとやや多め。若葉区で流行発生警報開始基準値を上回った。

<インフルエンザ> 第38週から連続して減少しており、0.61となった。過去10年の同時期と比べると2009年のパンデミックを除き最多のまま。

■ トピック ■

<流行性角結膜炎>

全国レベルの第39週の定点当たりの報告数は0.73となり、過去10年の同時期と比べるとほぼ平均レベルとなっています。都道府県別では熊本県及び沖縄県、愛媛県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は0.71で、全国レベルとほぼ同等となっています。千葉市の第40週は前週より増加し1.60となり、過去10年の同時期と比べると多くなりました。区別の発生状況は、美浜区(7.0/定点)で最多で、同区の3歳で最も多く発生報告がありました。2019年第1週から第40週までの累積報告数は127件で、性別では男性が59.1%(75名)、女性が40.9%(52名)となっており、年齢階級別では30歳代(22.8%:29名)、40歳代(16.5%:21名)、20歳代(10.2%:13名)の順で多くなっています。



<手足口病>

全国レベルの第39週の定点当たりの報告数は1.82で、過去10年の同時期と比べるとほぼ平均レベルとなっています。都道府県別では長野県、北海道、新潟県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は2.23で、全国レベルと比べると多めとなっています。千葉市の第40週は、前週より減少して2.33となり、過去10年の同時期と比べると多めとなっています。区別の発生状況は、若葉区(6.0/定点)で流行発生警報開始基準値(5.0/定点)を上回り最多で、同区の1歳で最も多く発生報告がありました。2019年第1週から第40週までの累積報告数は2474件で、性別では男性が54.0%(1335名)、女性が46.0%(1139名)となっており、年齢階級別では1歳(37.4%:925名)、2歳(21.9%:543名)、3歳(11.4%:281名)の順で多くなっています。

